

# ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ  
だより  
No.442

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269



名栗川での川遊びは、水がきれいで、川に入って楽しめるので、サマースクールの恒例になっています。

## 川遊び

あさやけサマースクール

五日間、仕事やバーベキューや創作活動など楽しいことはたくさんつまっていました。一番はやはり四日間を過ごした生徒さんへの思いが大きいです。毎日の反省会ではあまり細かいことまで思い出せなかったけれど、今振り返ってみると一日一日重ねる中で、その生徒さんのことについて知ることが増えていったと思います。特に最終日、お母さんを見てその生徒さんが思いを爆発させてしまった時は戸惑ったものの、自分も昔その経験をしたことを思い出して、じわつとくるものがありました。同時に高校二年生の彼を目の前にして、障がいのことが少しわかった気がしました。発語に障がいが出たり、手先に出たり、計算に出たり、コミュニケーションに出たりと人それぞれで、自分も軽い障がいをもつ一人のように思います。障がいがあるからといって、すべてを周りの人がやってしまうのは本人のできる

ことは増えていきません。下請け作業の班をずっと見ていましたが、袋詰めができたら次の仕事をとってやるなどどんどん新しいことにチャレンジしていました。最初は上手いかなくても何度も指摘するうちにコツをつかんでできるようになります。最初にできなくて、できないと決めつけてしまうのは間違いでした。ゆっくりではあるけれどできるとは着実に増えていくし、お母さんもお子さんができることを増やそうとされていることがわかりました。それは私にとっても同じことで、自分もできないことを一つでもできるようにする

## 介護等体験として あさやけサマースクールに参加して

武蔵野美術大学

富田 春香

ことが必要なのだと感じました。

今回のサマースクールでは多くの学校の先生やあさやけ職員の方々のお話しを聞いたこと、武蔵野美術大学一班的のメンバーとともにこの行事の一つの活動を任せていただいたことは大きな収穫です。毎日の反省会では私にはない視点からの感想を聞くことができ、自分の中で理解が深まりましたし、自分なりの意見を持ちました。そして私自身、生徒さんの関わりが弱かったことに気づいて、次の日にはより積極的になり、活動に生かすことができましたのではないかと思っています。

四月から今までやってきたこと、「障がいについて知る、企画を練る、準備をすること」を忘れるくらい、サマースクール五日間は大変で、上手いかないことも多くありました。でも、この四カ月みんなやってきたことがなかったら、当たり前ですがこの五日間はなかったと思います。一方で任せていただいた創作活動について、つめが甘かった点は反省点です。それでも生徒さんが笑顔で帰っていったことは良かったです。

貴重な体験をありがとうございました。

介護等体験は、小学校および中学校教諭の普通免許取得希望者が法律に義務づけられた社会福祉施設等で行う介護等体験です。ときわ会には毎年武蔵野美術大学から三十名ほどの学生が各事業所やサマースクールで体験しています。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

作業所に入って三ヶ月です

小勝 徳夫さん

(あさやけ第二作業所)



主にチラシの挟み込みの仕事をしています。大変だけど結構面白いです。挟み込み作業では入れ忘れしないこと、紙で手を切らないことなどを気をつけています。苦手なことは、チラシの重量の多いものの検査。余計なものが入っているのを、見つけるのが大変です。公園清掃の仕事はつらくないけれど夏の暑さが苦手なので、暑い中での清掃はつらい。これから秋や冬の公園清掃はいのじやないかな。

この夏、作業所でバーベキューをやりました。とてもよかったです。肉を食べ、少しお酒も飲み、魚介も食べたかったけれど、取りに行ったら人がたくさんいたので、食べられなくて残念でした。クラブ活動は、今は午前中で帰っているので参加はしていませんが、あえて言うならスポーツ部でボーリングをやりたい。流行っていた頃やったことがあるし、好きだから。十月のバザーも楽しみにして

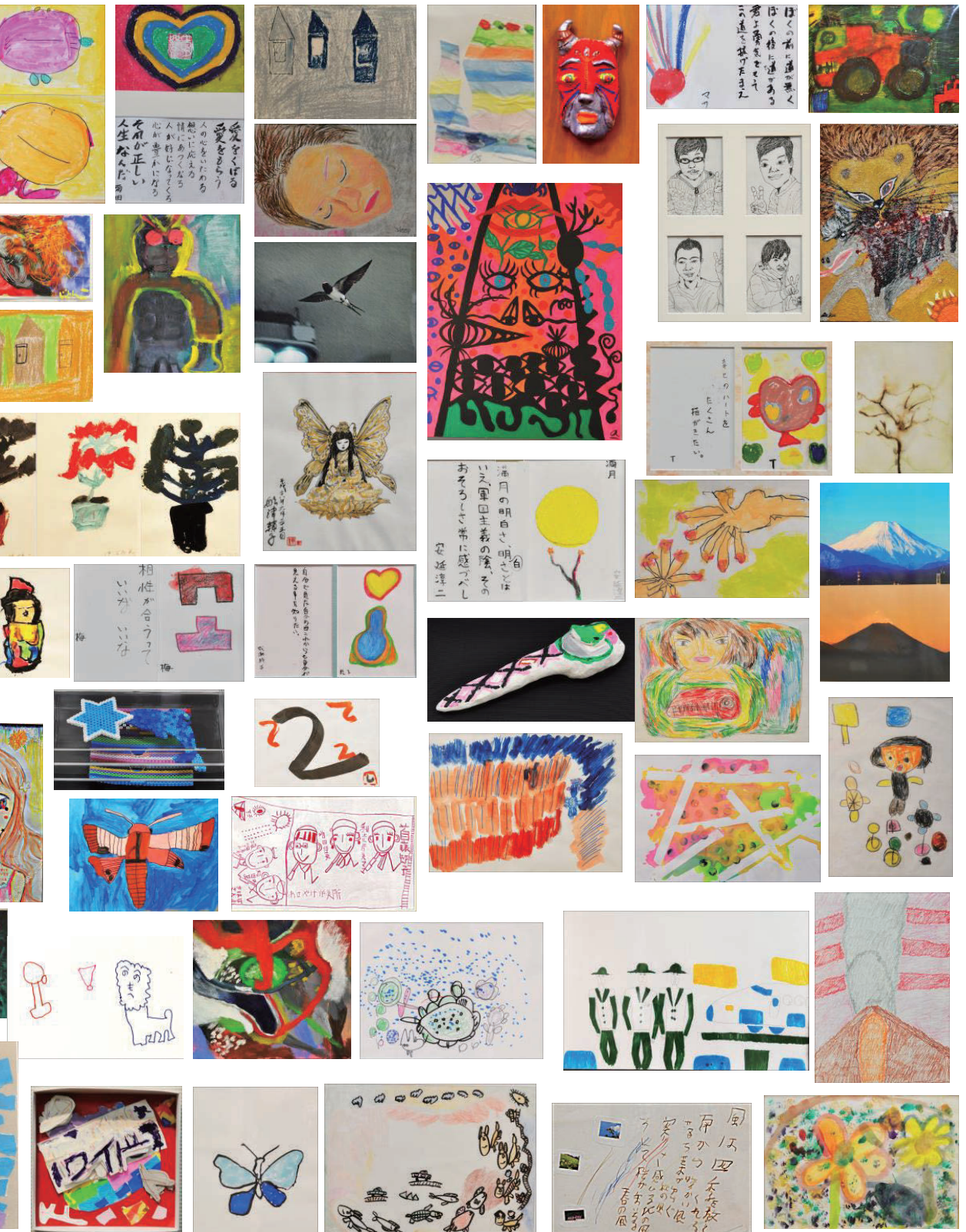
います、買い物に行きたいし、模擬店にも参加したいと思っています。

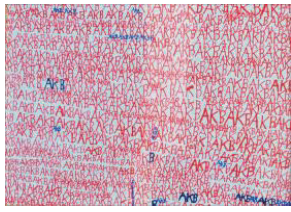
あさやけ第二作業所で良いところは、給食がおいしいところと喫煙所があること又知っている人がいたからいろいろと教えてもらえたことですね。作業所に通うことで毎日規則的に体を動かすのがいいと思います。

家では一人暮らしなので、気楽でいいです。あさやけ支援センターの人と買い物に行つて必要なものを買つたり、ヘルパーさんが週に一度来てくれて掃除や洗濯をしてくれているので、不便さはそれほど感じていないし、快適です。

今後の目標は、これといつてないですが、普通にやつていけたらと思う。あえていうなら、今は午前中だけ作業をして帰っているが、少しずつ午後も作業ができるようにがんばりたいですね。

(インタビュー・構成/田倉)

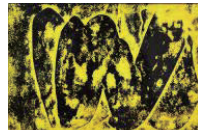
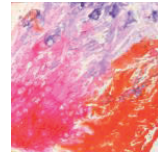




# あさやけアートフェスティバル

2016

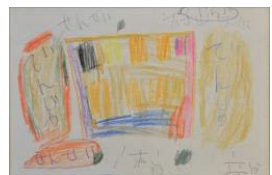
出品作品より



神伊  
宮勢



植竹浩司  
いっしょに  
まかせ。



## あさやけアートフェスティバル 2016 を開催して

実行委員長 西浦 孝幸

7月15日(金)～19日(火)、あさやけアートフェスティバル2016を開催いたしました。この催しも今年で3回目、法人内各事業所はもとより、おだまきさん、あーともはなこさんからも出品いただき、総出品数は200点を越えました。今年もメイン会場をルネこだいら展示室とし、合わせてなかもちテラス内喫茶「CAZE CAFE なかもち」にも展示をし、なんと両方の会場に来場された方には、飲み物無料の特典付き。

今回の目玉は、各事業所から人選し、その人の作品を数点展示するクローズアップコーナーを設けたことです。同じ人の作品でも、また違った味があり、「見比べることができてとてもよかった。」という感想も聞かれ、好評をいただきました。また、作品を見ていただくだけではなく参加してもらえるように、白い小箱に自由に描いてもらうワークショップコーナーを設けました。参加された皆さんの個性ある作品が集まり、これも一つの展示作品として花を添えていただけたと感じています。

昨年「作者の顔が見えるとよい」という感想が寄せられ、クローズアップの作品には作者の写真を掲示し、各事業所の紹介、活動場面のビデオ上映をいたしました。モニターの前に椅子を置き、じっくり見入られていた方もいて、また違った面も見ただけたのではないのでしょうか。

出品者にとっては、作品を見ていただけることが誇りであり、自信になり、また次の活動への大きな励みとなります。そういう意味では、5日間で500名を超える来場者があり、多くの方に作品に触れていただけたことは、大変うれしく思うと同時に来場して頂いた方にとっても、作品に触れることで何かを感じていただけたのなら幸いです。

今回のアートフェスティバル開催にあたり、多くの方に応援、ご協力をいただきました。事前の作品作りでの援助や展示の準備、その他様々な場面で、職員だけでは至らない所を補っていただき、美術の専門的なアドバイス等をいただけたことは心強いもので、この場をお借りしてお礼申し上げます。

それぞれの事業所で、ふだんアート活動をしていても、なかなか発表の機会がありません。そういった場所を提供するということ、また、障害を持った方が、素晴らしい感性を持っているということを知っていただく機会としても、この取り組みの意義は大きいと感じています。今年も多くの方のご来場をいただきましたが、まだまだ関係者の域を脱しえませんが、この素晴らしい感性をもっと広く一般の方に知っていただきたい、そのためにどのように取り組めばよいのか、今後の課題だと考えています。アートを通して障害をもった方が力を引き出し、素晴らしい感性を知っていただくために、今後もアドバイス、ご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

## 第35回 あさやけサマースクールのご報告



創作活動



紙漉



太鼓

### 〇はじめに

あさやけ作業所では今年度も8月1日(月)から5日(金)の5日間、地域の社会資源として作業所を開放し、障がいのある中学生、高校生22名を対象にサマースクールの取り組みを行いました。

### 〇仕事体験

仕事体験は紙すき班、下請け班、縫製班、製菓班の4グループに分かれて行いました。紙すき班は水に溶かしたパルプを大きな水槽からすきあげて紙にする作業を行い、下請け班はお店で販売される調理器具の検品とラッピングの作業、縫製班では業務用ミシンを使用した台所用ふきんづくり、製菓班ではシフォンケーキづくりを行いました。

### 〇創作活動

武蔵野美術大学の学生さんが実習として15名参加しました。「参加の生徒さんたちがどうしたら楽しめるか」を4月の段階から入念に考え、しっかりと準備をして当日に臨んでくれました。活動は2つの班に分かれ、それぞれが魅力的な企画を考案し、みんなで楽しい時間を過ごしました。

### 〇川遊び

3日目は恒例となっている飯能名栗川での川遊びとバーベキューです。天気も良く、川遊びの時間もたっぷりとれました。川から上がった後は冷たいスイカを食べ、みんな大満足で帰ってきました。

### 〇レクリエーション活動(プール・太鼓)

今年も小平特別支援学校さんのプールと音楽室をお借りして行いました。

### 〇おわりに

あさやけサマースクールも今年で35年目を迎えました。毎年開催することが当たり前であるこのサマースクールですが、時代の変化の中で、そのように簡単に言えなくなっているのも事実です。現状では以前に比べ、参加の生徒さんやご協力いただける先生方の数が減少しており、その原因究明と今後の対策も考えていかなくてはなりません。

期間中は参加生徒さんたちの喜ぶ顔や楽しんでいる姿をたくさん見ることができました。そのおかげで私自身も「このサマースクールをもっともっと続けていきたい」という思いを強くすることができましたので、今後のパワーにつなげていきます。

第35回実行委員長  
あさやけ作業所 石毛 慎一

主催: KODAIRAわいわいバザール実行委員会 後援: 小平市・小平市社会福祉協議会  
 協賛: 小平手をつなぐ親の会・小平肢体不自由児者父母の会  
 協賛品提供: 有楽製菓(株)・㈱ブリヂストン

**食器 日用品** **古着**

**おもちゃ** **KODAIRA** **わいわいバザール**

**古本** **カバン かつ**

日時: 10月9日(日) 11:00~15:30  
 10月10日(月・祝) 10:00~14:00  
 会場: 小平特別支援学校  
 (西武国分寺線・拝島線 小川駅西口より  
 徒歩5分)  
 昨年と開催時間と会場が異なります  
 お車でのご来場はできません

小川町  
 ●障害者福祉センター  
 ●緑成会病院 ●ドラッグストア ●文通 ●小川駅  
 ●小川西保健園

ココ! 東京都立小平特別支援学校

西口を出てください

小川特別支援学校によるポッチャ体験ができるよ!

- > 小平市内、近隣障害者施設による模擬店、あさやけバザール、製品販売
- > 会場内でスタンプラリーもあります  
スタンプ集めて景品をゲット☆
- > おまつり広場で盛り上がりましょう!

※小平特別支援学校へのお問い合わせはできません  
 KODAIRAわいわいバザール実行委員会(あさやけ鷹の台作業所内)  
 TEL 080- 5642-8295 〒187-0032小平市小川町1-411



私たちは障がいのある人たちが働き生活できる地域をめざしています。

廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は11,760kgでした。内訳は新聞8,660kg、雑誌・ダンボール3,100kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて174,260円でした。

**次回は10月15日(日)が回収日です。**

雨天の場合は中止とさせていただきます。